

授業科目	* 老年看護方法論				単位	2		
履 修	必修	関連資格	高一種免(看護)		ナンバリング	NU21316J		
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-2			
担当教員	溝部 昌子、吉原 悦子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>高齢者の生活機能を中心に、老年看護のアセスメント技術を用いて看護の対象を理解する方法を学ぶ。 実務家教員として、高齢者看護の実務経験のある教員が、老年看護のアセスメント技術、ケア技術の講義を担当する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の栄養ケアマネジメントにおける評価方法、多面的な栄養管理方法を理解できる</li> <li>2. 高齢者の排泄自立支援の方法について説明できる</li> <li>3. 褥瘡リスク評価と予防ケアについて説明できる</li> <li>4. 視覚・聴覚機能が低下した高齢者への生活への影響を説明できる</li> <li>5. 高齢者の運動機能障害と生活機能の関連について説明できる</li> <li>6. 高齢者の薬物動態の特徴を説明できる</li> <li>7. リハビリテーションのためのレジリエンスを高める看護について理解できる</li> <li>8. 高齢者に特有な症状(心不全、誤嚥性肺炎、脱水、浮腫)の病態と看護問題を説明できる</li> <li>9. 高齢者の安全な暮らしを脅かす要因を説明できる</li> <li>10. 災害における高齢者の健康への影響を説明できる</li> <li>11. 事例患者について、老年看護のアセスメント技術を用い加齢性の心身変化、病態、生活機能、看護問題をとらえ、説明できる</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	45	0	0	5	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	30		20				50	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)			15			5	20	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
加齢性の心身機能の変化を踏まえ、高齢者特有の健康障害や療養上のリスクを理解し、老年看護学的な種々の患者アセスメント方法を駆使し、対象を理解することができる。看護問題につい				看護における情報収集、アセスメント、ケアの実施について、高齢者特有の事柄に気付き、情報収集できる。				

て対象の意向や状況に応じて設定した看護目標を達成するために、様々なケア方法を検討することができる。				
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1. 栄養ケアマネジメント(溝部昌子) 口腔機能、摂食嚥下機能の評価 オーラルフレイル 低栄養、食形態、嚥下訓練食	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:高齢者の献立立案の課題提出	60
2	2. 排泄の自立支援(吉原悦子) 排尿障害、排便障害、尿失禁 排尿日誌	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:自身の排尿日誌を作成し提出	60
3	3. 皮膚の保護、褥瘡ケア(溝部昌子) 皮膚掻痒症、褥瘡、褥瘡リスク評価 褥瘡評価、褥瘡予防ケア	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:褥瘡リスク評価、褥瘡予防ケアの課題提出	60
4	4. 活動と休息を支える看護(溝部昌子) 感覚機能の低下、睡眠	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:聴こえの影響を考える課題提出	60
5	5. 歩行・移動を支える看護(溝部昌子) 歩行、移動能力の評価 骨粗鬆症、転倒・転落、骨折	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60
6	6. 呼吸・循環を支える看護(溝部昌子) 循環器の加齢性変化 肺炎、COPD、末梢動脈閉塞性疾患	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60
7	7. 診断・治療を受ける高齢者の看護 (溝部昌子) 高齢者の薬物動態 手術、検査を受ける高齢者の看護	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:看護に活かす薬剤情報課題提出	60
8	8. リハビリテーション看護(吉原悦子) リハビリテーションの原則 運動療法の注意点	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60
9	9. 認知機能の低下した高齢者のケア (吉原悦子) 中核症状、BPSD とそのコントロール コミュニケーション、接し方 食事、排泄、入浴ケアの留意点	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習、認知症サポーター講座の受講(任意)	60
10	10. 高齢者によくある症状とその対応 (溝部昌子) 脱水、浮腫、心不全	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:心不全患者の看護課題提出	60
11	11. 高齢者の安全な暮らし(溝部昌子) 高齢者の事故とその要因 熱中症、転倒・転落、溺水、窒息 グラフィックレコーディング	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:実家または祖父母宅の住環境チェック、グラレコまたは論述で課題提出	60
12	12. 災害と高齢者(溝部昌子) 循環器疾患、深部静脈血栓症 感染症、生活機能からみた支援	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60

13	13. パーキンソン病患者の療養の理解 (溝部昌子) パーキンソン病の病態 生活機能の障害、症状の観察	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60
14	14. パーキンソン病患者とその家族への支援(溝部昌子) パーキンソン病患者のリハビリテーションと看護ケア	配布資料 講義	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:講義の復習	60
15	15. 病態と看護問題の関連の理解 (溝部昌子) パーキンソン病患者の看護問題病態関連図の作成	配布資料 講義 * 提出	予習:教科書の該当箇所を確認する 復習:病態看護問題関連図の作成提出	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	加齢性の心身の変化、保健福祉学入門、看護形態機能学、疾病学各論、看護学概論、看護過程論、生活援助技術論、診療関連技術論、成人・老年看護学概論での学修は老年看護方法論の学びの基盤となります。			
テキスト	・ナーシング/グラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践,MC メディカ出版			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山田 律子:生活機能からみた 老年看護過程 第3版,医学書院 2016</li> <li>・真田弘美他編著:看護学テキスト NiCE 老年看護学技術改訂第3版,南江堂</li> <li>・日本老年医学会:改訂版健康長寿診療ハンドブック,メジカルレビュー社</li> <li>・日本摂食嚥下リハビリテーション学会:嚥下調整食学会分類 2013 など <a href="https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html">https://www.jsdr.or.jp/doc/doc_manual1.html</a></li> <li>・日本看護科学学会:看護ケアのための摂食嚥下時の誤嚥・咽頭残留アセスメントに関する診療ガイドライン <a href="https://www.jans.or.jp/uploads/files/about/Clinical%20Jp210630_2.pdf">https://www.jans.or.jp/uploads/files/about/Clinical%20Jp210630_2.pdf</a></li> <li>・日本褥瘡学会:褥瘡予防・管理ガイドライン(第4版)2015 <a href="http://www.jspu.org/jpn/info/pdf/guideline4.pdf">http://www.jspu.org/jpn/info/pdf/guideline4.pdf</a></li> <li>・日本創傷・オストミー・失禁管理学会編 IAD-set に基づく IAD の予防と管理 IAD ベストプラクティス <a href="http://www.jwocm.org/pdf/IAD-best_practice.pdf">http://www.jwocm.org/pdf/IAD-best_practice.pdf</a></li> </ul>			

授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	・基本的なアセスメントやケア技術に加えて、加齢による心身変化に対応できる老年看護学特有のアセスメント方法や高度で繊細な技術が求められます。 ・患者さんや家族に説明することをイメージしながら、知識や技術をしっかりと自分のものにしていきましょう。
達成度評価に関するコメント	・定期試験:50% 全範囲 課題:45% 8回分 その他:5% 態度等